

第6学年 学級活動指導案

名古屋市情報教育研究会

1 題材 ネット上のコミュニケーションについて考えよう

2 指導計画（3時間完了）

ネット上のコミュニケーションについて考えよう・・・3時間（本時2／3）

3 本時の指導

(1) 目標

ネット上のコミュニケーションの心理的特性について理解し、相手の感情を想定しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育むことができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

自分の考えに対する友達の考えを、付箋紙を用いてワークシート上に残し、可視化することで、自分と友達の考えを客観的に振り返り、自分の考えを深めることができるようにする。

(3) 準備

PC、プロジェクター、実物投影機、ワークシート、付箋紙（緑、黄、赤の3色）

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
3分	1 ネット上の特性を踏まえたコミュニケーションの方法（在り方）について考えることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ネット上でのコミュニケーションについて考える授業であることを伝える。 ○ 前時の学習を振り返り、ネット上では相手の表情が見えず、態度が大きくなったり、感情的になったりしやすく、思い通りにコミュニケーションを取ることができないことがあることを押さえる。
3分	2 グループLINEでやり取りをしている人たちの感情を想定し、なぜその感情になってしまったのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の学習で疑似体験をした際には、グループLINEでのトラブルを止めようとする立場で、相手とのコミュニケーションのやり取りについて考えさせたが、本時の学習では、怒りを感情的に発言している人物の立場で考えさせるようにする。
10分	3 グループLINEの中の感情的な発言が周囲に与える影響について、個人で考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際にLINEを使用しているような実感を伴わせるために、コミュニケーションの流れを緑色と黄色の付箋紙を順に並べさせ、LINE上でのコミュニケーションを考えさせるようにする。
25分	4 グループで対話し、自分の考えを見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いを効率的に進めるために、座席を風車型にするように指示する。 <p><対話の流れ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 並べた付箋紙を相手に見せながら、自分の考えを伝える。【話し手】 2 相手の考えを聞いたら、それに対する自分の考えを赤色の付箋紙に書き、相手のワークシー

4分	5 ネット上でのコミュニケーションを取る際に、どのようなことが必要になると感じたかを本時の学習内容を基にして振り返る。	<p>トに貼る。【聞き手】</p> <p>3 1と2をグループの全員が順番に行う。</p> <p>4 赤色の付箋紙について、詳しく伝え合う。</p> <p>○ 対話を終えて、新たに考えたことや気付いたことをワークシートに記述するように声を掛ける。</p> <p>○ 数名の児童に考えたことを発表するように声を掛ける。</p> <p>○ ネット上でのコミュニケーションでは、感情的になりやすいという特性を踏まえ、自分や相手の感情を考えながら、コミュニケーションをとることの必要性について考えさせるようにする。</p>
<p>評価事項</p> <p>ネット上のコミュニケーションの心理的特性について理解し、相手の感情を想定しながら、コミュニケーションを図ろうとする。 【発言・ワークシートの記述内容】</p> <p>□…グループLINEの感情的な発言が、周囲に与える影響を考えることができていない児童には、自分が感情的な言葉を受け取った際に、どのように感じるのかを、自分に置き換えて考えるように声を掛ける。</p> <p>☆…緑色の付箋紙と黄色の付箋紙を順に並べ、コミュニケーションの流れを考えることができていない児童には、感情的な発言を受け取る側の行動を他にも考えてみるように声を掛け、別の流れも考えさせるようにする。</p>		

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動